



第135号
平成22年7月25日
田迎校区公民館
館長 東 旭
編集委員
上田 昭蔵 吉住 久江
小林省三郎 西 朝徳
☎378-5878
編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町にくらしの工夫)

実践項目

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

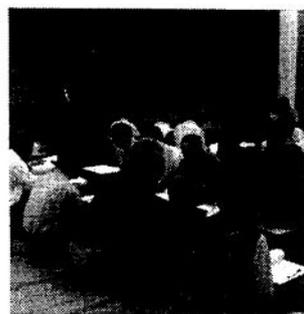
校区公民館

健康で明るいまちづくりをめざして

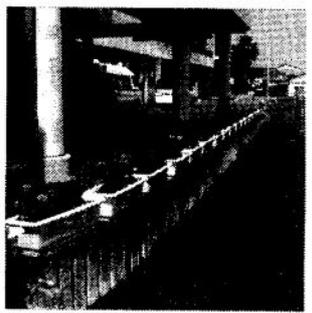
平成二十二年五月二十一日、午後六時から田迎校区まちづくり委員会総会が田迎公民館において開催された。

総会には幸田市民センターの石櫃所長他、下城教頭(田迎小)、幸田公民館長上妻館長等を来賓に迎え、田上二町内自治会長の開会の挨拶によって始められた。はじめ、前田会長代理の東田副会長の挨拶があった。その後、議長に東田副会長を選出して、議案審議が始められた。

議案審議次第は次の通りである。はじめに平成二十一年度の事業報告及決算報告並びに監査報告が行われた。引きつづき、平成二十二年事業計画案、予算案が提出され、審議の結果、全て万場一致で承認された。なお、総会に提案されて承認された今年度の事業計画



- (1) 広報活動において、待ったなしで進行する地球温暖化防止に対する認識を深め、家庭ごみの減量や省エネ生活を呼びかける。
- (2) CO₂二酸化炭素ダイエックンテテストや節水キャンペーンに積極的に参加しましょう。
- (3) 交通手段は、歩行や自転車や公共交通機関の利用でマイカーを自粛し、化石燃料の節約を図りましょう。
- (4) 太陽光発電・太陽熱温水器等の自然エネルギーの使用を奨励して校区住民が一体となって取り組みましょう。



- (5) 環境衛生面から蚊・ハエその他害虫などの発生源となっている水路、下水溝などを対象に薬剤散布を行い発生を防ぎます。
- (6) プランターによる「花の輪運動」を継続し、「花の町田迎」の名にふさわしいまちづくりを推進します。
- (7) 「虫の里づくり」を進めます。
- (8) ごみだしの「ルール」と愛玩動物の「糞の始末」の啓発に努めましょう。

◎地域と家庭と学校の連携の更なる強化
(1) 小・中学校の夏休み期間中に総合学習の一環として歴史探訪や工場見学を兼ねて、子どもたちの会話とふれあいの場に活用します。

◎環境衛生や美化運動の推進
(1) EM活性液の有効利用で環境破壊の原因となっている生活排水の浄化に取り組みます。

(2) 二の井手用水路を清流にする活動を継続して行います。
(3) EM活性液を各家庭に配布して、洗濯・炊事に使用し生活排水の浄化を図ります。
(4) EM(有効微生物)活性液とボカシ団子づくりを進めます。

校区老人会総会 開催される

平成二十二年五月二十一日(土)、田迎公民館において田迎校区老人クラブ連合会総会が午前十一時から行われた。

総会は高木莊七郎氏の開会の挨拶によって始められた。はじめに、会員物故者に対して黙祷が行われた。その後、校区老人会長の堺会長から「田迎校区は高令化率は低い方である。元気で毎日を送ることをほしい」との挨拶があった。

引きつづいて、市議会議員の江藤正行先生から「長生きは後世に残す財産である。元気で長生きしてほしい」との来賓挨拶があった。その後で、会員の米寿等を寿賀する記念品の贈呈があった後、被贈呈者代表挨拶辞があった。

総会は、第二麗水会長の山崎氏を議長に選出して議案審議が始まった。

平成二十一年度事業報告、決算報告、監査報告があり、引きつづき平成二十二年事業計画案が提出された。

- 次に役員改選が行われた。
- 会長 堺 巧氏
 - 副会長 山崎 斌夫氏
 - 理事 西田 宏志氏
 - 千場 伸宏氏
 - 高本 静雄氏
 - 兼本 正勝氏
 - 監査 町井 義則氏
 - 高本 莊七郎氏

以上の方々今年度の役員として承認された。

総会終了後は親睦会が行われて会員同士の親睦を図った。

校区老人会は、友愛、健康奉仕を目標に承認された行事を実施していく事になった。また、校区老人会は、講演会や研修会など健康と福祉の増進をめざして活動する事を申し合せて総会は終了した。

お知らせ

田迎地域コミュニティセンター臨時休館日のお知らせ!

八月十三日(金)から
八月十五日(日)まで

盆休みのため臨時休館しますので、お知らせします。

田迎地域コミュニティセンター
(☎三三九一三〇七九)